

第64回全国植樹祭式典音楽専門委員会(第7回)議事録

平成25年1月8日(火)

15:00~16:30

西部総合事務所第16会議室

(凡例)

●…委員発言

○…事務局職員発言

□…オブザーバー発言

○梅田参事

それでは、ただいまより第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会の式典音楽専門委員会の第7回会議を開催いたします。なお、本日の議事には、全国植樹祭の基本計画及び実施計画の策定をお願いしております乃村工藝社から、井上課長様に御出席いただいています。

□乃村工藝社 井上課長

皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

●○□全員

よろしくお願いたします。

□乃村工藝社 井上課長

浅野は少し遅れて到着いたします。

○梅田参事

井上課長様が言われたとおり、後ほど浅野ディレクターもお出でです。また、この度、昨年12月1日付けで私どもの全国植樹祭課、企画式典担当に加わりました西村係長がおりますので、紹介いたします。

○西村係長

西村と申します。皆様と一緒により良い大会にしたいと思っております。よろしくお願いたします。

●○□全員

よろしくお願いたします。

○梅田参事

では、議事に入ります前に、全国植樹祭課の大北課長と小谷委員長から、一言ずつ御挨拶をお願いいたします。

○大北課長

皆さん、明けましておめでとうございます。

●○□全員

おめでとうございます。

○大北課長

いよいよ、第 64 回全国植樹祭の本番まで本日で 138 日前となりました。5 月 26 日という日に向かって全力を挙げていかなければならないと思っております。この式典音楽専門委員会も、昨年 8 月 17 日の第 6 回の会議開催からしばらく間が空きましたが、式典音楽隊の合同練習を順調に進めていただいております、関係者の皆様には感謝申し上げる次第です。来る 1 月 19 日（土）に吹奏楽隊と合唱団の第 1 回目の合同練習が開催されます。事務局としても楽しみにしていますし、また、精一杯支援をして参りたいと思っています。また、今回の委員会では、静養中の池田先生が御欠席ですが、昨年 12 月 16 日の山陰少年少女合唱団リトルフェニックスの定期演奏会では、御登壇されたとも伺っています。池田先生にも、本番の晴れ舞台を是非とも見てもらいたいと思います。さて、本日の委員会では式典演出の内容について御協議いただき、この委員会で内容を詰めていきたいと考えているところです。本日の協議結果を踏まえまして、実行委員会幹事会を経て総会で協議し、2 月に開催される国土緑化推進委員会の特別委員会に諮る実施計画案を決定したいと思っております。したがって、式典演出や音楽の内容について御協議いただく委員会は、今回が最後となる予定ではありますが、今回も活発な御意見等をお伺いしたく思いますことをよろしくお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

○梅田参事

では、続きまして小谷委員長、お願いします。

●小谷委員長

皆さん、明けましておめでとうございます。

●○□全員

おめでとうございます。

●小谷委員長

本年もよろしく申し上げます。先ほどもありましたように、本当にあと 138 日ですか。ということで本当に詰まってきたなあと思います。先般、合唱の合同練習に付き合わせていただきまして、合唱の方もだんだんできているようですし、吹奏楽の方も 1 ヶ月前にやりましたけれども、これももう大分仕上がってきていると思っております。ただ、合唱については、ちょっと欠席者が目立ってしまっていて、合唱連盟さんにも今度の 19 日の練習に出ない者は降ろす、と発破をかけていただいておりますので、19 日はたぶん良い練習会になるのではないのかと思っています。いずれにしても、我々が関係する式典音楽が全国に流れるわけですので、できるだけ、いいものを発信していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

先ほど大北課長の挨拶にもありましたように、恐らく今回の会議が、式典音楽について実質的に検討する会議としては最後になるのではないかと思いますので、十分御意見をい

ただいで、実りのある会議にさせていただきたく思います。よろしくお願いします。

○梅田参事

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。第 64 回全国植樹祭鳥取県実行委員会会則第 12 条第 5 項の規定によりまして、本専門委員会の議長は小谷委員長に務めていただきます。小谷委員長、よろしくお願いいたします。

●小谷委員長

それでは早速ですが、協議の 1 番目「植樹祭プログラムについて」ということで、事務局の方から説明をお願いします。

○坪倉主事

資料 1「音楽構成リスト」を御覧ください。こちらは、今まで様々な曲がどんどん追加になっていますので、あらためて 1 つの表に整理したものです。行数が多いので少し見にくいと思いますが、基本的に今まで御討議いただいた結果を踏まえて作成していますので、説明はなるべく割愛します。まずプロローグのところ、P1 から P4 までの通し番号を入れています。そちらの楽曲は以前、坂本龍一さんの曲を使うということで話をしていたところ。やはり、演出の内容にあった曲にする必要がありますので、全曲を坂本龍一さんの曲にするのか、あるいは一部の曲は違う曲にするのか、そのようなことについては、この部分の演出を担当される目次先生とよくお話をし、あらためて決めさせていただきたく思いますので、確定したものではないということをお了承ください。それから、記念式典では、C15 のところに黄色く色付けをしていますが、こちらに東日本大震災復興支援プログラムを追加させていただきました。以前は、プロローグで行うような想定で資料に書いておりましたが、実行委員会総会で、震災支援についてはやはり記念式典の中で行うのが好ましいのではないかという意見があり、こちらに入れさせていただきたく思います。

参考 3 を御覧ください。東日本大震災復興支援の県内での取組について、説明資料を用意しています。これはどういう取組かといいますと、東日本大震災の被災県、特に岩手県、宮城県、福島県のいわゆる東北三県から、その土地の木の種をお預かりして鳥取県内で育て、それを苗木としてお返しし、主に海岸防災林の復興に使っていただきたいという企画です。名付けて「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」という表題としています。すでに、東北三県からは昨年 11 月に種を受け取ってきました。そして、開催町の小学校など、県内から希望を募って苗木を育てていただく、スクールステイの方式でやっていただくことで話もできています。式典の中では、「苗木を頑張って育てていますよ」ということを PR して、それから木録（木製の目録）の贈呈を行うというような内容を考えています。時間は 2 分間ほど度を考えていますが、もちろんここには BGM が必要ですので、事務局で検討した結果、NHK の復興支援ソング「花は咲く」が復興支援の曲の中でも非常に認知度が高まってきて、世間に定着しているということがありますので、この曲を使わせてい

ただきたく思っております。また、式典音楽隊に新たな曲をやっていただく御負担、あるいは権利関係の問題もあり、楽器の演奏を行うよりは、CD をかけさせていただいた方が、権利関係上も複雑にならないということがありますので、CD を使わせていただきたく思っています。また、NHK が著作権に付随する別の権利を持っているかどうかということについても確認しましたが、放送そのものの音源を使わなければ問題ないということですので、権利関係の処理は比較的スムーズに済むのではないかと思います。演奏について様々なバージョンがありますが、観客の想像力に訴えかけたいという演出上、ピアノによるインストゥルメンタルバージョンを使うのがよいように思っています。

その他、エピローグのところで赤い字で記載している「大山賛歌」と「ふるさと」ですが、中間「ふるさと」を先に歌って「大山賛歌」を後でと検討していたときがあったのですが、後ほど詳しく説明しますが、最終的には先に「大山賛歌」の合唱をしまして、最後に「ふるさと」という順番で考えています。以上です。

●小谷委員長

今の説明によると、特に C15 の「東日本復興支援プログラム」が、今までと違った形になっていますが、何か質問ありますでしょうか？赤い字の「大山賛歌」と「ふるさと」については、また後で検討するようになると思います。C15 については追加ということによるのでしょうか？では、それについては問題がないようですので C15 を追加するというのでいきますか？事務局も、それでよろしいですか？

○事務局

はい。

●小谷委員長

では、次の協議事項「式典演出について」事務局から説明をお願いします。

○坪倉主事

資料 2「全体演出構成案」を御覧ください。今までの会議でも、この前のバージョンはお渡ししておりますけれども、最新の情報に内容修正しています。まず、プロローグの中身に入っていきたいと思います。プロローグ演出構成案①のページですが、イントロダクションが始まった後には、鳥取県を紹介する映像を上映するというので、これ中身に細かい変更がある程度でして、基本的にそこは変わっていません。

プロローグ演出構成案③のページあたりから変更点が多いので、説明しておきます。適宜、参考 1 の「演出イメージ」、参考 2 の「演出展開図案」も御覧ください。

プロローグについてはまず、「森・川・海を表現するアトラクション」を開催町小学校のみどりの少年団約 200 人の演技で行うという枠組自体は変わっていません。この演出のイメージについては、目次先生ともお話しして形にしたところですが、最新のパスとしては、参考 1 の左上にあるように布等を使った演技のイメージを作っているところです。

それから、最初の太鼓の打ち上げがありますが、これはエピローグにも登場いただく米子がいな太鼓さんに 10 人程度、笛も入った編成で御出演いただくように考えています。こ

れは、当然プロローグでは演技があるためにセンターに出て来られませんので、上手（かみて）で叩いていただくようなことで考えています。

そして、美鳥の大使の司会者、いわゆる高校生司会者が3人出てくるというような流れになります。この進行役となるみどりの大使については、最初の3人から6人、9人と増えていきますが、この9人を西部地区の高等学校で放送や演劇に力を入れていらっしゃる学校で、どこが相応しいかというところを事務局の方で調べていました。結論として、米子南高校さんと米子松蔭高校さんをお願いするのが良いということで、学校側ともお話をしているところです。

それから、「森・川・海のアトラクション」があります。再々申し上げているとおり、淀江傘、ハンカチなどの小道具的な物を入れていますが、演出上どういった小道具を使うのが相応しいかということについては、目次先生とお話をしながら決めていきたいと思っています。そこで、このあたりには今のところ大きく手を入れてはおりませんが、変更となりましたら、その画に入れ替えていくつもりです。

ページを1つ飛ばしますけれどもプロローグ演出構成案⑥、「森・川・海のアトラクション」の最後では、アトラクションスペースの真ん中に次の創作劇「大山森話」にも出てくる大きな木が登場します。いちばん左の列に「大きな1本の木入場」と書いてあって、左から3番の列のところに絵が書いてありますけれども、出かたをいろいろと検討した結果、下の絵にあるようにロール状の木を持ってきて、それがクルッとつながって、中から人が持つというやり方が良いのではないかということで、この方法で進めていきたいと考えています。そしてアトラクションの中では、こちらの参考1（式典演出イメージ）のいちばん上の列の真ん中のイメージのとおり、代表者植樹の苗木を運び込むことも、ここでやってしまうように考えています。

創作劇「大山森話」については、鳥の劇場さんの方で稽古も進めていますし、また周りで踊る子供たちのダンスの指導もしていただくことになってきます。イメージとしては、真ん中に大木が立っておりますので、話の中核はこの前での木の精と女の子との対話で進んでいくということになります。こういう具合に、画的には真ん中にドーンと木が大きく出ていくような中でやっていくイメージです。それから、この二人の周りで行われるダンスについても、イメージに入れていきます。衣装にまだ色が入ってないんですけども、このような衣装を付けて踊る形になります。その振り付けなどにつきましては、やはり鳥の劇場さんに考えていただくことになります。

プロローグ演出構成案⑦以降は、ほぼ定型的な部分になりますので大きな変更はありません。

それから、記念式典演出構成案①、②では、表彰、主催者の挨拶などがありますが、これも大きくは変更していません。③のお手植え・お手播きについても、大きな変更はありません。

④からが大会テーマの表現になりますが、この中では、最初の方で鳥取県の森の現状を

心配する県民の方のメッセージを入れていきたく考えていまして、すでに取材をさせていただきました。智頭町でおんな山師集団をやっておられる、町議会議員でもある中野ゆかりさんの取材をさせていただき、その映像を編集してメッセージとして入れていきます。

そして⑤以降が、大会テーマ表現のアトラクションの部分ですけれども、県民の方々の代表のメッセージとダンスによる大会テーマの表現という、この枠組自体は変えておりません。トッキーノが出ている絵がありますけれども、このように真ん中にメッセンジャーとなる方々に出てきていただいて、その後ろでダンサーが踊っているというようなイメージになってきます。ですので、衣装もまだ前の絵のままになっていますけれども、ここはやはり目次先生とお話をしながら新しいパースに入れていくことになってきます。また、この大会テーマ表現の中で林業の若手の担い手の方々ですとか、あるいは森林保全活動に取り組んでいらっしゃる漁業者の方などのメッセージを紹介していく流れを考えており、大型ビジョンに投影していきます。こちらもすでに資料に名前が書かれている方々に取材をしました。メッセージの伝え方については、編集の仕方次第で変わってくるかと思いますが、そうした県民の方々のメッセージというのも併せて入ってくるということになります。メッセンジャーの方々につきましては、どういう団体が相応しいかということについて現在、事務局の方で選考して順次お話をしていくということにしております。

また、記念式典を通しては挨拶、贈呈などの出演者の方を誘導する必要がありますが、その誘導については式典アシスタントが行うことになっております。式典アシスタントについては、高等学校を対象に、各校の校風、教育方針なども見ながらどういった学校が相応しいか考えておりましたが、米子松蔭高校さんが相応しいということで、お話をさせていただいているところです。

⑩では、大会テーマ表現の後に先ほど申し上げたとおり、「東日本大震災復興支援プログラム」が入ってきます。木で作った目録ということで、木に録と書いて「木録（もくろく）」の贈呈をやりたいと考えていまして、この贈呈は地元の小学生にやっていただくと書いています。先ほど申し上げたように、苗木を預かって育てている学校の中から選びたいと思っております。学校側との正式なお話はこれからということになりますが、事務局としましてどの学校が望ましいかということは考えまして、こちらは米子の車尾小学校さんが、以前から陸前高田市の小学校と交流されているそうですので、そういう意味で車尾小学校さんに出演していただけるように、今後お話できたらと考えているところです。

大会宣言、リレーセレモニー等は特に変更しておりません。天皇皇后両陛下御退席のところも、変更はございません。

エピローグ演出構成案の①にいきますけれども、今までの会議でも、エピローグに入れ込む要素、たとえば太鼓を入れるなどのことについては、資料に記載していました。最終的に今回の資料のような内容にさせていただいたということです。まず、赤い字で書いてあるところを読んでいただきたいのですが、昨秋県民の方から募集させていただいた「木に聞きたいこと」の作文がありますので、これを上手く使っていきたいと考えています。そ

れから、先ほど説明した大会テーマ表現のところでも一部使わせていただく場面があります。県内の漁業関係者の方の森林保全活動ですとか、あるいは若手の林業関係者で担い手として活動していらっしゃる方々の言葉をここでまとめて、県民の方の森への思いということで、映像として流していきたいと考えています。

②に移りますが、創作劇「大山森話」の主役には代役がいますので、この子に登場してもらって何か台詞を言っていただくことを考えています。この台詞の内容も、現時点での案ですので、もう少し検討していく必要があるかと思えます。こうした県民の方々の森への思いというのを、エピローグの導入ということで組み立てていきたいと思っています。

そして、これが終わって③、式典開始のアテンションの太鼓もやっていただく米子がいな太鼓さんの演奏、今度はセンターに出て演奏をしていただきまして、この時間は 8 分間ほどと考えております。10 人程度の編成で叩いていただき、会場内の引き締まった雰囲気演出したいと考えています。

そして最後に④、出演者を紹介させていただき、そして会場と出演者が一体となって感動的なフィナーレを迎える流れを考えています。ゆるキャラが出演者と一緒に出てくるということについては、前からお出ししていたとおりなのですが、このキャラクターについても、どのようなキャラクターが望ましいのかを考えますので、この写真に挙げているのは一例ということです。ここは、事務局の方で良く勉強をしながら、相応しいキャラクターに出ていただくように考えていますが、賑やかな雰囲気も演出していきたいと考えています。ここの BGM は「大山賛歌」と考えています。途中「ふるさと」の演奏ということも考えたのですが、やはり、ゆるキャラが出てくるという演出上のことや、「ふるさと」が感動を高める格の高い曲なので、「ふるさと」を最後に持ってきて、ここでは「大山賛歌」を合唱することにしたということがあります。そして最後にみんなで、大会テーマ唱和した後に、アンコール的な形で「ふるさと」の合唱が入ってくるような形とお考えいただければと思います。

以前、フィナーレでは鳥型の風船を飛ばすとお話したかと思いますが、鳥型の風船は「ふるさと」の演奏中からフワッと上がっていくというような形と考えています。

エピローグでは「大山賛歌」を歌って、そして「ふるさと」を歌うということになりますが、最初に太鼓を叩く人たちがいますので、太鼓はどうなるかという扱いの問題がありますが、楽曲の性質上なかなか和太鼓を入れるということが難しいということがありますので、太鼓の人たちにはその場で歌っていただくように考えております。

また、楽譜は吹奏楽の楽譜を使うことにしているので、管弦楽団さんがどのように参加をされるかを考える必要があるかと思えます。たとえば、似たような音色の楽器の演奏という形で御参加いただくことが可能であれば、そういう入り方をさせていただくということになってくるのかなと思っていますが、これは御意見を伺った上でと考えているところです。少し分かりにくいところがあったかもしれませんが、演出構成案についての説明は以上です。

●小谷委員長

内容がかなり多岐にわたりましたが、各委員は、お分かりでしたでしょうか？

「ここが分かりにくかった」ということがあれば、質問をお願いします。

●新倉専門委員

まず、エピローグの④のところ、弦楽器は一応キャストとしては出演者全員と書いてあるんですが、サウンドとしては、吹奏楽隊と合唱隊と書いてありますよね？弦楽器はその演奏をただ見ていけばよいのでしょうか。どうなんでしょうかね？

●本田専門委員

「フィナーレ」として楽譜をいただいた曲は、ここの曲ではないんですか？

●新倉専門委員

ちょっと分からないんだけど、僕が書いた楽譜でしょうか？

○坪倉主事

本田先生のお手元に「フィナーレ」という曲名で渡っている楽譜は、大会テーマ表現のフィナーレの楽譜で、こことは違うところになります。

●新倉専門委員

ああ、採譜から取ったやつですね。分かりました。

それと関連しますが、記念式典構成案の⑨ですが、ここが今、本田先生がおっしゃっていたところだと思うんですが、キャストのところに吹奏楽隊、合唱隊と書いてあるんですが、この「フィナーレ」には弦楽器も入るように、私は書いた覚えがあるんですが。

○坪倉主事

そうですね。それが反映されていないようで、申し訳ございません。

新倉先生のおっしゃるとおり、こちらには弦楽も入ってくるようになります。

●新倉専門委員

以上です。

●小谷委員長

それで、最後のフィナーレはどうなるんですか？

●本田専門委員

「フィナーレ」はどこに入るんですか？「フィナーレ」という題名の曲は？

●小谷委員長

⑨、大会テーマの表現のところですね。

○坪倉主事

小谷先生がおっしゃったとおりで、記念式典演出構成案の⑨のところですよ。

●小谷委員長

資料1のリストで言うと、C14ですね。それで、エピローグのいちばん最後の「ふるさと」をやっているときにオケ（オーケストラ）にも適当に入れてほしいわけです。

●本田専門委員

「ふるさと」の楽譜は配られていますよ。

●新倉専門委員

それは、違います。天皇陛下が発たれるときの、歌のない方です。

●本田専門委員

それは、資料1で言うとC19ですかね？

●小谷委員長

そうです。それは、天皇陛下が帰られときの曲。その楽譜は、エピローグで合唱する「ふるさと」と調が一緒だったでしょうか？それとも、違っていたでしょうか？

●本田専門委員

一緒でしょうね。

●新倉専門委員

僕は、こちら（エピローグ・合唱）の調を知らない。

●本田専門委員

弦楽器は一応しないので。

●新倉専門委員

今の話は、資料1の表のE4（「ふるさと」合唱の伴奏）をどうするかということでもよろしかったですよ？

●小谷委員長

そうです。

●新倉専門委員

それで、吹奏楽の楽譜が、もうあるんですよ？もしこの席で、みんなでやるということであれば、たとえば私がそれをお借りして、弦楽器が加わってもいいような形の、弦楽器の楽譜を作るとか。

●小谷委員長

それでいきましょう。是非やりましょう。

弦楽器も入るというだけで。オケだけ見ているだけというのもおかしいでしょう？歌うよりも弾いた方が楽しいでしょう？歌ってもいいし。では、弦も入るということで決定しましょう。

○坪倉主事

はい。

●本田専門委員

「大山賛歌」は入らないんですね？

○坪倉主事

「大山賛歌」は…

●新倉専門委員

やってもいいし。やらなくてもいいし。

●本田専門委員

知っている人は、歌えるけど。歌える人もいるかもしれないですけど。

●新倉専門委員

同じようにやってもべつに構わないですよ。普通に。

●小谷委員長

では、弦楽には「大山賛歌」にも入っていただくということにしましょう。

●本田専門委員

分かりました。

●小谷委員長

では、エピソード楽曲への弦楽器の参加については解決しました。

○坪倉主事

「大山賛歌」については、楽譜はどういたしましょうか？

●小谷委員長

楽譜も、新倉先生にスコアから弦楽用に作ってもらうということになります。

○坪倉主事

分かりました。

●本田専門委員

資料1のC5（表彰BGM）は色々紆余曲折があったみたいですけど、結局この曲は、「ありがとう」ですか？

●小谷委員長

いきものがかりの？

●本田専門委員

はい。いきものがかりの。

●小谷委員長

「ありがとう」の楽譜はまだ手元にないんですか？

●本田専門委員

まだ、楽譜は手元にはありません。

○坪倉主事

そうですね。新倉先生、状況いかがでしょうか？

●新倉専門委員

この前まで、神庭さんにお渡ししてあって、それで乃村工藝社の方に著作権のことをクリアしていただいたので、コントラバスの音を入れた楽譜を今日持ってきました。

●本田専門委員

はい、ありがとうございます。

●小谷委員長

解決しました。よろしいでしょうか？「大山賛歌」と「ふるさと」の順番を前回の案より入れ替えたということがありますが、それは問題ないでしょうか？

それから、これも分からないんですけども、「エピローグの演出構成案③」のがいな太鼓の演奏時間が8分というのは、結構長いような気がするんですけども、大丈夫ですかね？

○坪倉主事

演奏時間や人数については、がいな太鼓さんの御意見を聞いた上で8分、10人ということにしているところです。どのくらいがやりやすいのかということがありますね。

○近藤課長補佐

私の方から説明させていただきます。和太鼓連盟の会長さんと出演について相談をさせていただきまして、乃村工藝社から、約5分でお願い出来ませんでしょうかということをご提案いただきました。約20人、5分ということで話をさせていただいたんですけど、5分だと太鼓の思いが伝えきれない、最低でも8分いただきたいということがありました。もうひとつ、もし和太鼓連盟で受けるのであれば、米子ががいな太鼓さんがいちばん大きい組織だということでした、そこともう一団体くらいしか、出演できる可能性はないだろうということでした。和太鼓連盟さんの中でも特に精鋭のグループがあるようでして、ここが10数人だそうです。8分で出演は10人前後の精鋭で迎えたい、それが条件だということをご話をいただきまして、それを受ける形で乃村さんと話をし、時間を8分にさせていただいております。

●小谷委員長

そういう話があるわけですね。しかし、聞く人の立場に立つと少し長いかなと思います。

□浅野ディレクター

今後、がいな太鼓さんと打ち合わせを重ねまして、やはり皆さんおっしゃるとおり、8分は少し長いかなという感じはあると思いますので、オーディエンス（観客）の皆様が飽きない形で、がいな太鼓さんと調整しながら演出をアレンジしていこうと思っています。

●目次専門委員

他のものとのバランスがちょっと悪いと思います。

●竹田副委員長

天皇陛下のお手植え・お手播きの次に流れてきますからね。メインに近いものになっちゃうので、果たしてそれが、植樹祭に浴うかどうかということですね。

●小谷委員長

やる方としては、自分のやりたいことを完結したいという思いは、分からないでもないですけどもね。全体の流れの中で8分という時間を取ることが、5,000人いる観客を引きつけることがちょっと…太鼓側からすると、できるとおっしゃるでしょうけれども、ちょっと無理があるかなという気がしないでもないですね。

●新倉専門委員

バランスとして、悪いですね。

●目次専門委員

「伝えたいことが伝わらない」という点に関していくと、最初の子供たちの踊りなんかでも、5分というと走ったら終わりなので、130人も出るのにもかかわらず5分でやるのに、太鼓だけ8分というのはちょっと納得がいかない。それから、各学校30～40人ずつ出演しますけれども、それが各パート1分ずつなんですよ。1分で何ができるかという、出てきて走ったら終わりみたいな時間です。今、ここに絵で布を書いてありますけれども、こんなことをやる暇は、たぶんないです。

それを考えると、私はこれではなければならないと思って、色々四苦八苦して考えています。「時間が少なくて表現仕切れないから、増やしたい」というのが通るのであれば、私も増やしたい。

□浅野ディレクター

目次先生のおっしゃったところで前提としてあるのは、陛下が御臨席ということです。エピローグに関しては御退席後で、クリアになっていますので。陛下が御退席されるまでの時間の縛りというのは、先生にはたいへん恐縮なんですけれども、非常に厳しくなっていて、そこで時間を積み重ねていくというのは、エピローグを増やすというより厳しいという状況があると思います。

●目次専門委員

なるほどね。

●小谷委員長

それにしても、バランス的に言った者勝ちみたいなことが良いのかどうか？それから、全体の中での、いわゆる見せる時間の配分っていうのですかね？そのあたりは、今後詰めていきましょう。専門委員会としては、「ちょっと長いのではないか？」という疑問符を付けておくということでもいいでしょうか？

その他、気がつかれたことはありますでしょうか？

では、また私から。いちばん最後のアナウンス「一緒に歌いましょう」というところの文言、これは確定ですかね？

□浅野ディレクター

現状はニュアンスですので、まだ確定ではないです。

●小谷委員長

「岡野貞一の日本を代表する名曲」なんて言わなくても、“鳥取県が生んだ偉大な作曲家、岡野貞一の曲「ふるさと」を皆さんで歌いましょう”、このくらいでいい。変にこだわる必要はないですよ。

●竹田副委員長

ニュアンスということで、これから検討されるはずですので、そういう意見もあるとい

うことでよろしいでしょうか？（笑）

●井上専門委員

先ほどのエピローグ②にある台詞に関しても、これからまだ変えられるということですね？誰かがちらっと見て、文章的なところをチェックされるということ。

●小谷委員長

では、「そういう内容のことを言う」ということで、文言についてはまた考えられるということ、承知しました。その他、何かありませんでしょうか？

●新倉専門委員

さっき言ったことなんですけれども、忘れちゃうといけないので、渡しちゃいたい。（笑）「ありがとう」の楽譜。（本田専門委員に手渡し）

●小谷専門委員

じゃあ、贈呈式を。（一同、拍手）

●新倉専門委員

それから、目次さんに、この前言われていた「大会テーマ表現」の移動のところというのが、まだ音にはなっていないんですけれども、簡単な吹奏楽でやっていただく想定でやっています。現在は移動のときにあまりリズムがないので、移動するところのつながが必要ということで、一応案を考えてみました。要するに、太鼓で「ターラッタッタ、ターラッタッタ、タラララン」っていうだけなんです。それでよければ、それを吹奏楽で演奏したり工夫してもらって、つながりの音楽にしていきたい。以上です。

●目次専門委員

ブリッジのところですね。ありがとうございます。

●小谷委員長

他に、もうありませんか？膨大な資料なので、少し分けて見ていきましょか？

プロローグのところでは問題ないですか？特にここでは、式典音楽としては P15、16 ですね。「コスモスの花」は合唱隊に二部合唱で歌ってもらうようにしました。では、プロローグはよろしいでしょうか？

次に記念式典、音楽が結構変わっていますが、いかがでしょうか？いきものがかり「ありがとう」のことは今、出しましたが。

●本田専門委員

これは、5分経ったらやめるということですか？それとも、5分以内に演奏してしまうということなのか。

●新倉専門委員

たぶん、5分以内に終わっちゃうので、少しゆっくりやって5分くらいに出せるかなということ。ちょっとやってみて、もし間が取れないなら繰り返そうか？ということです。

●小谷委員長

では、記念式典の中の「大会テーマ表現」。これについては、音源のテンポを守って、音源

のテンポに合わせて演奏をするということですよね？目次さん。

●目次専門委員

はい。

●小谷委員長

音源のテープのテンポを反映するというので練習をしていただきたいと思います。それから次に大会宣言のファンファーレ、オーケストラの「ふるさと」があります。式典が終わりまして、エピローグはいかがでしょうか？

●竹田副委員長

エピローグ構成案④の右のところ、合唱隊 30 名うんぬんというところは、これはここに書いてあったら決定になるんですか？「所定の位置にスタンバイ、来場者と一緒に歌う」とか、「誘導スタッフもスタンバイし、招待者に歌詞カードの準備をアナウンスします」、というところは、これはなくなるんですか？

●小谷委員長

移動しない場合の話だったかと思うけれども。

○近藤課長補佐

資料の表紙に第 3 稿と書いてあるとおり、順次更新されていくので、前日リハーサルまで、リハーサルの結果も反映させながら変わっていくものですから、これで決まりということではないです。表紙に履歴が書いてありますとおり、県と乃村工藝社とがこれだけのやり取りをしながら、どんどん書き直してきていますので、今後もいくらかでも書き直しはあります。また、ここでの御意見も踏まえながらどんどん変わってきていますし、それから、練習を重ねてきていく中でも変わっていくものだと御理解ください。

●小谷委員長

いちばん最後の「ふるさと」のところで、いちばん最後のノートのところ、「合唱隊のうち 30 名及び美鳥の大使 30 名が所定の位置にスタンバイ」というところで、合唱隊約 30 名が動くというのは難しいと思います。だからこれはやめてもらって、美鳥の大使が張り付くのは構わないけれども、そこはこのようにしてもらいたい。

●新倉専門委員

合唱隊 30 人はちょっと忙しいよね。(笑)

●小谷委員長

合唱隊の席で、大きな声で歌ってもらった方がいい。

●平井専門委員

そうですね。

●新倉専門委員

結局、なしになったんですか？

●小谷委員長

はい。「美鳥の大使～」以降だけが生きるということです。「合唱隊約 30 名及び」は削除。

●新倉専門委員

そういうことなんですね。

●本田専門委員

お客さんに一緒に声を出してほしいという意図ですよ。

●小谷委員長

そうそう、そういうことですね。それはたぶん先ほど言った、アナウンスの持っていき方次第でいくらでも歌うと思いますので。

●新倉専門委員

トッキーノに指揮をさせたらいいんじゃないかな。(笑)

●竹田副委員長

招待者には、画面が見られないので、歌詞カードを配るということ？

□乃村工芸社 浅野ディレクター

画面だけでは、前のほうの席では見えるとは思いますが、後ろが見えないですね、たしかに。

●竹田副委員長

大会プログラムに歌詞を掲載するとか？

●小谷委員長

「県民歌」と「ふるさと」はプログラムに歌詞を入れようと言ったんじゃないかな。それからたしか、「大山賛歌」も。

○近藤補佐

そうです。

○坪倉主事

「県民歌」、「ふるさと」、「大山賛歌」ですね。大会プログラムに歌詞を掲載するのは。

●小谷委員長

はい、それでは、やっておいてください。

●本田専門委員

もうひとつ、すみません。鳥の風船ですが、材質は危なくない物ですか？

●小谷委員長

風船の材質は、自然環境にやさしいものかという、本田委員からの質問です。

○坪倉主事

材質はですね、自然に還元するプラスチックです。

●本田専門委員

これは、獲物と思い込んで驚とかが来たら。驚はいないか。

□浅野ディレクター

かなり大きいです。直径 70 cmあります。かなり大きい物です。おっしゃるとおり大きいです。ただ、驚よりは大きくはないですが。

●新倉専門委員

落ちると自然還元するということですね？

●本田専門委員

間違っって食るとかありますか？動物が？

□浅野ディレクター

100%ないとは言い切れませんが、基本的には風に乗れば飛んでいってしまいますので。風にもよりますけれども。

●小谷委員長

よろしいでしょうか？そうしますと、だいたい原案でいけそうな感じですが、実施計画は今日、決定をするんですよね？

○坪倉主事

実施計画案を検討する上での演出案の決定ということになります。

●小谷委員長

分かりました。大筋、了承していただくということで。あとは、細かいところは事務局に調整をかけていただくということでよろしいでしょうか？

●本田専門委員

ひとつだけいいですか？「花は咲く」は2分、ピアノでやるんですか？ピアノの演奏のCDということですか？

○坪倉主事

ええ。辻井伸行さんが演奏されているCDがありますので、これを使えるかなと思っております。尺（長さ）の問題ですけれど、本田先生の御指摘どおり前奏から演奏すると、たぶん1番の終わりまでで2分を超えてしまうので、上手い入れ方を考えなければいけないということは、考えているところです。

●本田専門委員

さっきもう通過しましたので、この案がね。しかし混声四部の楽譜がありますよ。3ヶ月くらいあったらできそうなものですが。

●小谷委員長

歌にしたらよいのではということ？

●本田専門委員

歌の方が…と思いましたが、まあいいです。辻井さんの演奏は、それはそれで素敵でしょうから。

●小谷委員長

どうでしょうか？歌も入れようという本田委員の御提案ですが。

●井上専門委員

2分内で、ナレーションも入るんでしょうかね？

○坪倉主事

そうですね。ナレーションも入ってくる中での BGM ということで。特に「花は咲く」は元の「花は咲くプロジェクト」の CD では様々なタレントさんが交替で歌う変わった形式の歌い方をしています。言葉は少し悪くなりますが、あの CD を使うと若干うるさいのではないかと思っていますところでは。

●小谷委員長

では、ナレーションも入るわけですかね？

○坪倉主事

そうですね。

●小谷委員長

歌詞がない方がいいかな。では、原案どおりでいきたいと思います。時間については、いいかけ方をしてください。

それでは、どうでしょうか？大筋、これにそってやるということで収めていいでしょうか？では、そのようにしたいと思います。次に、「リハーサル計画」について事務局から説明をお願いしたいと思います。

●新倉専門委員

この参考 2 (演出展開図) というのは、あとで説明いただくんですか？演出については議事が終わっちゃったんですけども。

○坪倉主事

参考 2 というのは、先ほどの資料 2 「式典演出構成案」の補足資料とってください。

こういう場面では、こういう動き方をしますという説明図です。

●新倉専門委員

これは、もう終わったということですか？

○坪倉主事

はい、終わりました。

●新倉専門委員

分かりました。

○坪倉主事

たとえば、あとで新倉先生が御覧になって、何かここは変じゃないかというところがありましたらお申し出ください。

●新倉専門委員

要するに、そっちが説明しておかなくてもいいのかということです。分厚いのがあって、これはいつやるんだろうと思っていたら、リハーサル計画の話に移ってしまいそうだから、後でちょっとコメントがあるのかなと思って聞いただけです。

ひとつだけ、僕が指揮することになって、吹奏楽の指揮者とお互いが見える状態にあるかということが心配です。それは、後でまた聞けばいいので。

●小谷委員長

それは配置など、こっちでまたしますから。じゃあいいですね。たとえば、目次先生の動きの出入りみたいなのを書いてあるみたいですけど。

●目次専門委員

これは、まだ決まってないです。「こういう経路が通れるよ」ということで伺っているだけなので。

●小谷委員長

じゃあ、その動きについては、また目次先生と事務局とで話しておいてください。これで、第2の協議を終わって「リハーサル計画」に入ります。

○坪倉主事

資料3「第64回全国植樹祭りリハーサル計画（案）」を御覧下さい。これは、各委員の先生方にはもう出演団体の代表ということで、既に御説明させていただいているところなのですが、あらためてこの委員会で御承諾いただきたく、今日改めてお持ちしました。

この表の見方ですが、いちばん左に「リハーサル等の名称」がありまして、それから「開催候補日」を入れております。そこから5列は、リハーサルに出ていただく必要がある人のところに丸が付いています。まず「本部員」というのは、県のスタッフです。「式典陛下周辺」というのは、介添えスタッフです。

それから、「みどりの少年団」、これは陛下周辺の介添えをする小学生、それからこのアトラクションに出演者として出る小学生、みどりの少年団。ここは、県西部の各市町村の教育委員会をお招きして会議をしまして、いわゆる開催三町、南部町・伯耆町・江府町の小学生にやっていただく、やはり開催三町を優先していこう、ということになりまして、今は、その開催三町だけで十分人数がまかなえるということで、開催三町の小学校が出演することになっています。

「洋舞連盟」は鳥取県洋舞連盟さん。具体的には、目次先生の教室、ダンススタジオ JAM にお願ひすることになりますが、出演者として出ていただく必要があるところに、丸を付けています。

「音楽隊」につきましては、回によっては管弦楽団が入っていないところがありますけれども、管弦楽団も含めた音楽隊に出演いただくところに丸をつけております。それで説明していきますと、まず1月19日に吹奏楽団と合唱団の合同練習が予定されています。

それから、出演者の代表の方に式典の概要など、その時点で分かっていること、どういう集合の仕方をするかというようなこと、拘束時間がどれくらいになるかということまで、もし分かれば説明をさせていただきたいということで、説明会と書いております。これは一堂に会して説明をさせていただくのか、あるいは機会をみて、順次説明をさせていただくということになるのか、まだここは確定したものではありませんが、出演者に対する説明をさせていただく機会を設けるということです。

それから、3月23日の日には、またこれも県立武道館で、吹奏楽団・合唱団の合同練習

をやりますが、リハーサル用の録音が必要になってきますので、こちらには米子管弦楽団様にもお越しをいただいて、その録音をさせていただきたい、練習プラス録音ということで向かわせていただきたいと思います。

それから、合同説明会というのがスタッフ、出演者の代表に実施を踏まえた説明を行うことになるのですが、これは県の人事異動が年度初めの4月1日にありますので、県の側の理由で恐縮なのですが、人事異動後の時期に、本番会場のとっとり花回廊で開催させていただくということを考えています。

4月6日の式典のリハーサルにつきましては、アトラクション、式典まわりのリハーサルというところをやるということですが、この会場は、米子コンベンションセンターです。この米子コンベンションセンターは、本番が荒天になった時の会場でもありますので、この機会を利用して荒天会場のリハーサルということも兼ねて行いたいと考えています。

それから、まったく本番を想定して、本番と同じようにやるリハーサルについては、まず4月14日の総合リハーサルがあります。とっとり花回廊さんが、やはり大型連休中から5月にかけて行楽シーズンになって、また花の盛りの時期ですよ。そこをちょっと外したところで、4月14日に開催をしたいということです。そこで大雨が降ってしまいますと、せっかくのリハーサルができなくなってしまいますので、予備日を1日設けさせていただいております。これが、その1週間後の4月21日です。

それで、音楽隊についてはこの日程を利用して、荒天会場にはキャパシティー（収容能力）的に音楽隊が入れませんので、荒天会場になった場合の録音をさせていただくということになります。これは、総合リハーサルが予定どおり花回廊で行われてしまいますと、屋外になってしまいますので、環境的に録音が難しいということがありまして、予備日の4月21日に境港市民会館を押さえておりますので、この予備日を利用して開催をさせていただく。逆に4月14日に雨が降って花回廊でリハーサルができないということになった場合には、その4月14日の行き先を音楽隊だけ境港市民会館に変えて、そこで録音をさせていただくということです。いずれにしても、この14日と21日に総合リハーサルと録音をやる、どういう天候になっても、ここの2週間引き続き拘束させていただくことになり恐縮ですが、そういうことになります。

それから、5月11日の三町合同練習です。三町というのは、先ほども言いました、南部町・伯耆町・江府町の開催三町の小学生さんが出てくるパート、特に、アトラクションのところのリハーサルを行わせていただくということになります。これは総合リハーサルの日程が、本番の1ヶ月半近く前で間が空きますので、間の日程で行うということです。

そして5月25日に前日リハーサル、26日に本番ということになります。

そして、ここには書いておりませんが、アトラクション部分については、ダンス的な部分が入ってまいりますので、目次先生に御指導をいただいたり、あるいは、創作劇「大山森話」のバックで踊りを踊るところ、これは小学生が踊ることになりますが、ここについては鳥の劇場に御指導いただいたりという機会も必要かと思えます。これは各学校あるい

は町単位で巡回指導をいただく機会を設けさせていただくつもりでおりますが、この表には今のところ入れておりません。

リハーサル計画は、以上です。

●小谷委員長

リハーサルの内容が出ておりますが、それぞれのところで確認いただいて、このスケジュールでいくということを確認いただくということでもいいでしょうか？

●平井専門委員

はい。合唱の方も4月14日、21日は絶対空けておかなければいけない、各合唱団に参加を要請しなくてはならないということですね？

○坪倉主事

そうですね。12月に各出演合唱団に対して、出演依頼の文書を送らせていただきましたが、その文書には、その日程を拘束させていただくということも、資料として付けております。

●新倉専門委員

私、以前にいただいたと思うんですが、ちょっと確認のために、19日の時間と会場をもう一度教えてください。

○坪倉主事

1月19日の式典音楽隊合同練習は10時開始、16時終了を予定しています。ただし、合唱団は13時から合流という予定です。会場は国道431号線沿い、弓ヶ浜公園内にある鳥取県立武道館の主道場です。

●新倉専門委員

すみません。ちなみに3月23日の時間、場所も教えてください。

○坪倉主事

それも同じく10時から16時、県立武道館です。

●新倉専門委員

式典リハーサルの時間等は決まっていますか？

○坪倉主事

そうですね。4月以降のリハーサルの時間等については、これから調整をさせていただくことになります。

●新倉専門委員

式典リハーサルは、ひょっとして私には関係ないかな。4月14日と21日の時間、会場は境港になるんですね、音楽は。

●小谷委員長

または、とっとり花回廊か。

●新倉専門委員

基本的には、花回廊になるわけですね。集合時間は、だいたい何時頃になりそうですか？

○坪倉主事

早朝からになります。

●新倉専門委員

早朝？音楽も早朝ですか？

□浅野ディレクター

恐らく、出演団体ごとにリハーサル時間の割り振りを決めるわけですね。

その中で音楽隊は、比較的ゆったり目だとは思いますが。

●新倉専門委員

まだ、細かいところまで決まっていけないけれども、一応、前日もあるというところまでは決まっているわけですね。

□浅野ディレクター

一応、リハーサルのスケジュールとしましては、午前中開始、夕方くらいに解散というところです。

●新倉専門委員

それから、合同説明会の音楽隊の代表というのは小谷先生になるのでしょうか？

●小谷委員長

これは、式典出演校の代表の先生方なども入るのではないのでしょうか。

●新倉専門委員

私はいいのでしょうか？どうなのでしょう？代表が誰なのか分からない。

●小谷委員長

4月上旬の予定の合同説明会には音楽隊のメンバー、我々も出るのかどうかということ？

○濱本課長補佐

主には団体を代表される、各学校の先生などを想定しているところです。今後、何時に集まって来ていただくかというようなスケジュールを決めていきます。そのほか、合唱団の先生、代表になる先生方などに来ていただければと考えています。

●小谷委員長

出演団体の代表ですからね。

○濱本課長補佐

当日もたとえば、小谷先生にどこに入っていただくかという問題があります。団体で動くということになるので、そこに小谷先生に入っていただくかどうか。

○近藤課長補佐

合同説明会等の細かな動きについては、後日事務的な連絡をすることになると思います。

●小谷委員長

この専門委員会のメンバーでは、僕と竹田先生くらいですよ？出るとすれば。

○近藤課長補佐

目次先生など他の先生方にも御指導いただいたりしますので、個別にはそれぞれ出演者

と関わりを持っていただくという感じになると思います。

●小谷委員長

わかりました。ひとまず、皆さんスケジュールを空けておいてください。

●新倉専門委員

具体的な日にちは、まだ分らないですよ？

○近藤課長補佐

まだまだ未定です。

●新倉専門委員

未定の日程、特に4月上旬（合同説明会）が決定するのはいつですか？

○近藤課長補佐

まだ未定ですので、決まり次第連絡します。候補日としては、4月7日（日）ではないかと今、事務局で話をしています。出演団体の代表の方が、お仕事がお休みのときでないと無理なのかなということがありますので。

●小谷委員長

候補が4月7日、決まり次第連絡をいただける。じゃあ、リハーサル計画、日程的などころについては、いいですね？それでは、その他報告事項がありましたら、事務局からお願いします。

○坪倉主事

協議以外の報告事項は、特にはございません。

●小谷委員長

ないですか？

○坪倉主事

協議事項の中で、御報告すべきことはだいたいできました。

その他として、今の合同説明会をどうするかということも含め、色々なお話があります。たとえば、輸送計画についても、指定の場所に集合いただかなくてはならないのですが、いつどこに集まっていたか、という話も、各出演団体とさせていただかなければならなりません。各委員の先生方におかれましては、各団体の代表として、今後とも事務局とそのような詳細なところまでお話しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

それから、当日式典会場内に入る方についてはIDを発行しなくてはならないので、名簿登録をする必要があります。その時期がかなり迫ってきておりますので、これについても、各出演団体に御協力をお願いすることになります。そちらの方もよろしくお願いたします。

こちらからの御説明としては、以上です。

●小谷委員長

警備がたいへん厳しいので、生年月日等色々とチェックしますので。その時期が来たら

そういう手続きをされるということです。

●目次専門委員

何かそのための用紙はあるんですか？

○坪倉主事

また、様式はお示しします。どういう項目が必要かということですね。

●小谷委員長

書類で提出するということですね？

●目次専門委員

一応、うちのスタジオでも個人情報を知りつつあるんですが、項目が足りなければ追加しなくてはならないし、早く伺っておきたいです。

●小谷委員長

本籍も入れるんでしょうか？

○濱本補佐

本籍まではいらぬです。現住所、氏名、生年月日、性別等を予定しています。

●小谷委員長

はい、わかりました。そういうことがあるということ承知しました。

それから、大北課長さんの挨拶にもありましたように池田さんがとても元気になられて、リトルフェニックスのステージ（昨年12月16日の定期演奏会）に車椅子で上がって来られてスピーチもされまして、「僕の住所は、皆生の温泉病院だから、温泉病院からやって来ました」なんていう冗談も言いながら、すごく元気になっておられました。「すごい回復力ですね」と言ったら、喜んでおられました。

では、今日の議題はすべて終わりました。

たぶんこれで、今後このような会議はなくなるのではないかと思います。ありがとうございました。また、個々にお願いをしないといけないことも出てくると思いますけれども、大会が無事に成功しますように祈念しまして、今日の会議を終わりたいと思います。

それでは、事務局にお返しします。

○梅田参事

小谷先生、ありがとうございました。以上をもちまして、「式典音楽専門委員会第7回会議」を閉会したく思います。

委員の皆様方、長時間熱心な御協議をいただきまして、ありがとうございました。気を付けてお帰りくださいませ。

●〇〇全員

ありがとうございました。